



京都光華女子大学
京都光華女子大学短期大学部

京都府初のパートナー校 「UNHCR 難民高等教育プログラム (RHEP)」に関する 協定を締結

京都光華女子大学/短期大学部（学長：高見 茂）では、難民を対象とした「UNHCR 難民高等教育プログラム (RHEP)」に関する協定を、国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所および国連 UNHCR 協会と締結し、2023年5月9日（火）、調印式を執り行います。

京都初のパートナー校、短期大学部においては全国初！

「UNHCR 難民高等教育プログラム (RHEP)」は、日本において難民認定されている方々もしくは難民に準ずる方々の中で、経済的理由等により大学進学が困難な人のために、UNHCR 駐日事務所および国連 UNHCR 協会とパートナーシップを結ぶ大学がそれぞれの奨学金制度により大学教育の機会を提供するプログラムです。

本学は、本プログラムに関する協定を UNHCR 駐日事務所および国連 UNHCR 協会との間で締結し、2024年4月から RHEP で推薦された難民（最大2名）を正規学生として受け入れ、入学検定料のほか、入学金、学費、生活費の一部を奨学金として支給します。

本プログラムのパートナー大学は本学の参加により15校、京都では初のパートナー校となります。また、全国の短期大学部において、京都光華女子大学短期大学部が初めての機関となります。

■ RHEP 協定締結 調印式

日時：2023年5月9日（火）13:30～14:30

場所：国連 UNHCR 協会（東京）

参加者：UNHCR 駐日代表、国連 UNHCR 協会事務局長、本学学長、本学国際交流センター副センター長

誰一人取り残さない世界の実現を目指す SDGs の考え方に通じる、本学の建学の精神

光華女子学園は、昭和14年、東本願寺の故大谷智子裏方（ご門首夫人、昭和天皇妃の妹君）による「仏教精神に基づく女子教育」との願いにより、校訓「真実心」を掲げ、おもいやりの心を持ち、他者への配慮や共に支え合うことができる女性を育成を目指し設立されました。この理念は、誰一人取り残さない世界の実現を目指す国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の考え方にも通じています。

本プログラムは、SDGs の内、目標1「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」、目標4「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する」、目標10「各国内および各国間の不平等を是正する」、目標17「持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化」の達成に貢献します。

■ Web サイト「学校法人 光華女子学園×SDGs」 <https://gakuen.koka.ac.jp/sdgs/>

報道各社におかれましては、ぜひ、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華女子大学/短期大学部 入学・広報センター 担当：垣貫

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp [URL] <https://www.koka.ac.jp/>

Well-Being を実現する健康・未来創造キャンパスへ



健やかな明日が華ひらく

京都光華では、これまで80余年にわたって仏教精神に基づく女子教育に取り組んできました。その根幹にあるのは校訓「真実心」。世界が目指す「持続可能な社会」に通じる重要な考え方です。私たちは、この理念によって立ち、すべての人が健やかに暮らせる「Well-Being」な未来の実現を目指し、学生一人ひとりに、そして地域に寄り添い、社会の要請に応えてまいります。